何故だ！何故だ！何故だー！！

年末手当の不当なボーナスカットに抗議する！

平成26年年末手当において、組合員1人が不当なカットを受けました。当該組合員は査定期間中、責任事故（運転事故）はおろか現金事故（過不足金）、出勤遅延過、労働災害等、一切起こしておらず、知識確認及び、技能確認も合格している優秀な運転士です。

会社は、現在係争中の竹本さん、前田さんのボーナスカット本人訴訟で、次の通り主張しています。

- ・勤務成績が良好で無い者は、減額の対象となる。
- ・管理者が非違行為を確認し、注意・指導した場合現場長に報告をしている。
- ・査定期間中2回行われるヒヤリングで、現場長は支社にフォーマット（5W1H）で報告をしている。

しかし、当該組合員がカットされた理由を森浦担当助役、植西助役に尋ねても、「知らない、支社に聞け!」と全く誠意の無い対応でした。又、今泉総務科長は「指導助役に、注意された心当たりがあるでしょう!」と曖昧な対応でした。

このように、管理者は、管理者としての責務を全く果していません。大阪第二運輸所の責任者である松井所長は、当該組合員との面談を直ちに行い、理由を丁寧に説明すべきである。

私たちは、自らの点数稼ぎ・自己保身にひた走るばかりの、所長をはじめとした管理者を絶対に許さない。

そして、満身の怒りを持って、ありもしない非違行為を注意・指導をしたとされる管理者と、その虚偽内容を支社に報告した所長を、社会的に明らかにする闘いを堂々と推し進めて行く。

会社はパワハラと同等にあたるボーナスカットをやめろ!!